



## 彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/2000383">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/2000383</a>

# 【彙報】

## 国語探究研究会 記録(令和6年(2024)5月～令和7(2025)年2月)

第116回／令和6年5月29日(水)

- ・石川諒介(北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程)1年生の4月の読み指導について ～「くまさんとありさんのごあいさつ」の実践から～

第117回／令和6年6月5日(水)

- ・柳谷直明(北海道教育大学、北海道教育大学附属札幌中学校)主体的判断を取り込む批評的鑑賞文指導 ～『レモン哀歌』を用いて～

第118回／令和6年6月12日(水)

- ・生田あゆみ(工学院大学附属中学校・高等学校、知窓学舎)読解と文法から解放された古典授業はどこへ向かうのか

第119回／令和6年6月19日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)説明文を原作に自作のデジタル絵本をつくる探究的学習の実際 —筆者の主張と事例の関係を読む「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」を使った実践事例を通して—

第120回／令和6年6月26日(水)

- ・首藤久義(千葉大学名誉教授)読みの個性と創造性 その学習と支援 —芦田恵之助とケネス・グッドマンに学ぶ—

第121回／令和6年7月3日(水)

- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校)文学的文章の読書と読解についての一考察

第122回／令和6年7月10日(水)

- ・船津啓治(鹿児島県霧島市立牧之原小学校)絵本『わくせいキャベジ動物図鑑』の教材化と可能性 —子どもの想像力を刺激し、創造力を高める—

第123回／令和6年7月17日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)卒業に向かい、主体的に経験と言葉を結びつける探究的学習の展開 ～単元「My best 卒業ソング」の実践を通して～

第124回／令和6年7月24日(水)

- ・田山地範幸(名古屋経済大学市邨中学校・高等学校)生徒は古文の原文から何を読み取るのか

第125回／令和6年7月30日(火)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)共通作品を分かち合う読書パートナーを活用した探究的な学習の展開

第126回／令和6年8月3日(土) 国語を学ぶ会第150回記念例会と共催

- ・佐野比呂己(北海道教育大学教授・釧路校)文学的文章の読解
- ・丹藤博文(愛知教育大学教授)文学教材を読み深めるために —「ごんぎつね」(新美南吉)を例に—
- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校)文学的文章の読書と読解の授業づくり ～精読と多読再考～
- ・弥田将人(北海道釧路湖陵高等学校)きっかけとしての文学の授業
- ・戸川貴之(北海道帯広柏葉高等学校)生徒主体で行う文学国語「山月記」の授業 ～協働的から個別最適化された教室へ
- ・花坂歩(大分大学教授)もの語りと自己開示、共生について

第127回／令和6年8月7日(水)

- ・長澤元子(北海道函館西高等学校)論理を働かせるためのリサーチ活動～鈴木孝夫の『相手依存の自己規定』を題材とした探究的リサーチ活動

**第128回／令和6年8月14日(水)**

- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校)学習者が主体的に読みを創造する国語授業の在り方 ～『おむすびころりん』音読スーパースターへの道』の実践を通して～

**第129回／令和6年8月21日(水)**

- ・宮内悠子(鹿児島大学大学院／西之表市立種子島中学校)地域の素材を生かした国語科授業の創造

**第130回／令和6年8月28日(水)**

- ・岡田陽子(西武学園文理高等学校)伊勢物語で小説を書く 翻作して読む古典

**第131回／令和6年9月4日(水)**

- ・井口裕太(北海道伊達開来高等学校)超スマート社会に生きる私たちについて考える「話すこと・聞くこと」および「書くこと」の単元構想

**第132回／令和6年9月11日(水)**

- ・宮本真哉(北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程)児童一人一人が主体的に取り組む書写の授業づくり ～課題解決型学習の書写学習の視点より～

**第133回／令和6年9月17日(火)**

- ・戸川貴之(北海道帯広柏葉高等学校)学習者が主体的に学ぶ教室について考える 学習目標と評価の所在

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)『やまなし』からはじまる読書と表現

**第134回／令和6年9月24日(火)**

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)共通作品を分かち合う読書パートナーを選択して展開する探究的学習 ー単元「あの人と読む『やまなし』」の実践事例を通してー

- ・吉田 昌平(福岡県久山町立山田小学校)主体的に文学の表現を評価する高学年国語科学習

**第135回／令和6年10月2日(水)**

- ・村上呂里(琉球大学教授)「ちいちゃんのかげおくり」と「かげふみ」を重ねて読む試み ——「かげ」と「いのち」をめぐる考察

- ・小久保美子(前新潟大学理事・副学長)資料単元「JAPAN」(1940)にみる日本の詩歌・物語に関する参考文献の解題 ーサンタバーバラ市教育局(カリフォルニア州)の取組に着目してー

**第136回／令和6年10月9日(水)**

- ・佐野比呂己(北海道教育大学教授・釧路校)教材としての「東遊雑記」

- ・寺西創(和歌山県立向陽高等学校)主題を統合した古典授業 ー『蜻蛉日記』『町の小路の女』の実践ー

**第137回／令和6年10月16日(水)**

- ・柳谷直明(北海道教育大学、北海道教育大学附属札幌中学校)テキストを自己解釈する読者を育てる 鑑賞・批評指導理論 ——文種を意識した中学1・2年生の記述の検討を通して——

(輪読)これからの社会像「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)

**第138回／令和6年10月23日(水)**

(輪読)現行学習指導要領の目指したものとその趣旨の実現状況「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)

- ・廣田健生(熊本大学教育学部附属小学校)視点を変えて物語を味わおう ～それぞれの「一つの花」～

**第139回／令和6年10月30日(水)**

(輪読)これからの社会像や現状の課題を踏まえた資質・能力「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)

- ・熊谷天音(北海道北見緑陵高等学校)初任1年目4月から10月までの実践報告

**第140回／令和6年11月6日(水)**

- (輪読)各教科等の目標・内容、方法、評価「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)
- (輪読)今井むつみ「生成AIの時代の言語能力、読解力とその基盤となる資質能力」(今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会(第10回) 令和6年3月25日)

**第141回／令和6年11月13日(水)**

- (輪読)現行の「個に応じた指導」の記述と充実の在り方 教育課程の柔軟性の在り方「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)
- ・石井明子(都立新宿高等学校)映像を活用した授業実践 ―古典教材と『光る君へ』を比較して

**第142回／令和6年11月20日(水)**

- (輪読)学校段階間の連携・接続の在り方 教育課程を実施する上での学校現場の過度な負担を防ぐための在り方「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)
- ・福田環(北海道釧路北陽高等学校)『評論文から物語に書き換えよう』実践報告

**第143回／令和6年11月27日(水)**

- ・橋本拓士(大分大学3年)話し合い活動について
- ・荒牧剛志(熊本市立健軍小学校)考察を楽しむ ―6年文学的文章「模型のまち」～

**第144回／令和6年12月4日(水)**

- ・内田久美子(純真高等学校)暗中模索の8カ月で得た課題
- ・井口裕太(北海道伊達開来高等学校)「資料を整理しながら、読み手を意識した報告文を書く」実践報告

**第145回／令和6年12月11日(水)**

- (輪読)教科書・教材の在り方 カリキュラム・マネジメントの実態と今後の推進の在り方現「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理」(令和6年9月18日)
- ・椿山美紀(川崎市立西生田中学校)「絵本プロジェクト」に向けての取り組みと今後について

**第146回／令和6年12月18日(水)**

- ・小原俊(文部科学省)学びの場でともに生きること ―小1プロブレムを超えて―
- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)作家と読書家になるための条件 ――Nancie Atwell (1991)『side by side』を手掛かりに

**第147回／令和6年12月26日(木)**

- ・野口由紀子(千葉県市川市立南行徳中学校)「分かりやすい、読みやすい」を学校図書館から
- ・長澤元子(北海道函館西高等学校)AIを利用して書く ～探究活動のアカデミックライティング

**第148回／令和7年1月8日(水)**

- ・吉田昌平(福岡県久山町立山田小学校)主体的に情報に関係づけて読む説明的な文章学習
- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校)My探究ブックで語り合おう～わすれられないおくりもの

**第149回／令和7年1月15日(水)**

- ・木立浩平(ホライズン学園仙台小学校)PYP校として国語をどう進めるか? How do we teach stand-alone Japanese in PYP school?
- ・濱野天司郎(大阪府立水都国際中学校・高等学校)IBDP「言語と文学」における「美女と野獣」の教材化

**第150回記念例会／令和7年1月25日(土) 国語を学ぶ会と共催**

- ・佐野比呂己(北海道教育大学教授・釧路校)国語探究の深化と広がり ―北と南、理論と実践の架け橋―
- ・中野一哉(教育研究者)教科書をひらく、教科書からひらく

- ・小久保美子(前新潟大学理事・副学長)「既知の読み」から「未知の読み」へ
- ・村上呂里(琉球大学教授)子どものナラティブと作品のナラティブが響き合う教室 ——南の島のリテラシー実践——
- ・首藤久義(千葉大学名誉教授)表現活動を通して読む ——大村はま実践における翻作プロジェクトに学ぶ

#### 第151回／令和7年1月22日(水)

- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)新教材の『考える』とは？ をデジタル絵本に翻作すること
- ・高木公裕(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)探究者としてエンゲージメントするライティングプロセス ——Nancie Atwell(1990)「Coming to Know :Writing to Learn in the Intermediate Grades」を手がかりに

#### 第152回／令和7年1月29日(水)

- ・井口裕太(北海道伊達開来高等学校)日本語による国際交流の実践について
- ・熊谷天音(北海道北見緑陵高等学校)目的意識を重点とした「山月記」の実践について

#### 第153回／令和7年2月5日(水)

- ・赤間千尋(暁星国際流山小学校)小学校国語科における作詞を通しての物語理解 ——「スーホの白い馬」を題材とした学習指導案を検討する
- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校)先行研究から考える「読書と読解」

#### 第154回／令和7年2月12日(水)

- ・津澤響(釧路町立富原小学校)ようすを おもいうかべながら よもう「スイミー」 ～おはなしどうぶつえんをつくろう！～
- ・椿山美紀(川崎市立西生田中学校)問いづくり(QFT)を通して物語を探究的に読む単元構想

#### 第155回／令和7年2月19日(水)

- ・長屋樹廣(釧路市立中央小学校)先行研究から考える「単元学習」
- ・田山地範幸(名古屋経済大学市邨中学校・高等学校)論理国語においてどのように生徒がAIを使用したのか

#### 第156回／令和7年2月26日(水)

- ・木立浩平(ホライゾン学園仙台小学校)知識の構造に基づく概念型探究国語
- ・長澤元子(北海道函館西高等学校)学びを最大化する定期テストの試み

## 『国語速報』受理記録ISSN 2760-0076(～令和7(2025)年2月)

長屋樹廣: 目的意識をもち、主体的・探究的に読む授業の創造 ～小学2年生「いなばの白うさぎ」の実践を通して～ (令和7年(2025)2月1日受理)

佐野比呂己:【書評】平安貴族の不安を解消した陰陽師 中島和歌子『陰陽師の平安時代 貴族たちの不安解消と招福』吉川弘文館 (令和7年(2025)2月11日受理)

佐野比呂己:【書評】探究学習を拓く羅針盤 日本NIE学会『探究の学びを拓くNIE—多様性の中の確かな指針として』京都新聞出版センター (令和7年(2025)2月11日受理)

佐野比呂己:【書評】高校国語、伝統と革新の調和 大村勅夫編著『高校・国語の新展開』学事出版 (令和7年(2025)2月11日受理)

佐野比呂己:【書評】生徒の主体性を引き出す古典授業の実践例 島田康行編著『高校国語〈批判的思考力〉を育む実践アイデア』大修館書店 (令和7年(2025)2月11日受理)

佐野比呂己:【書評】「太虚」の深淵へ 山際明利『張載思想研究—宋明理学の中の「太虚」説』北海道大学出版会 (令和7年(2025)2月11日受理)

佐野比呂己:【書評】文学と法律の融合 札埜和男『文学模擬裁判のつくりかた』清水書院 (令和7年2月17日受理)

佐野比呂己:【書評】長年の教育経験が生んだ古典への探究心 宮内健治『とはずがたりの敬語論考』銀の鈴社 (令和7年2月25日受理)

## 国語探究研究会賞

国語探究研究会では、会の充実と発展に寄与することを目的とし、優れた研究、貢献した会員を顕彰することになりました。

厳正なる選考の結果、下記の3名が栄えある「国語探究研究会賞」を受賞されました。

受賞された先生方のお名前を記し、これまでの研究に敬意を表するとともに、会への多大な貢献に心より感謝申し上げます。

### 首藤久義先生(千葉大学名誉教授)

長年にわたる国語教育へのご貢献、そして本会においては、プロジェクト、翻作、同時異学習の研究開発をご紹介いただき、多くの会員が実践に活かしています。

### 井口裕太先生(北海道伊達開来高等学校)

国語探究研究会創設に尽力し、生徒の「表現力」と「情報活用能力」を育成するための効果的な学習方法を探究する優れた研究を幾度にわたり発表されました。

### 高木小裕先生(佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校)

「主体的・対話的で深い学び」を実現し、現代社会において必要とされる資質・能力を育成する探究的な学習に関する実践と研究に尽力されました。

先生方の今後の益々のご活躍を祈念いたします。